

# 都大会におけるレフリングの留意事項

東京都クラブ選手権大会のレフリーは、クラブ帯同公認レフリー、その他クラブ大会に賛同するレフリー諸氏によって笛が吹かれます。レフリーもまたクラブ大会の大切な参加者の一人です。この留意事項は、クラブとレフリーとの共通理解のため、ご活用ください。

IRBラグビー憲章3レフリングの原則に述べられているとおり、

第1に、プレーヤーの安全性の確保、

第2に、プレーの継続を、

「競技規則適用の優先順位」として、特に以下の点に留意してください。

## (1) 安全性の確保

### ①危険なプレー

- ・競技規則第10条を厳格に適用して、安全性を確保してください。
- ・特に、ハイタックル、ジャージの襟を掴む行為、空中にいるプレーヤーに対するコンタクト、相手を掴もうとしないで突き当たる行為、頭を下げた姿勢で頭から突進するプレーなどは重大事故に繋がるプレーであり、絶対にさせないレフリングを心がけてください。
- ・ラック・モール・スクラムのコラブシングは重大事故に繋がる可能性が高いため、厳格に対処してください。

### ②スクラム（競技規則第20条参照）

組み合うタイミングが合わない場合に、頸部への重大事故が発生する場合があります。クラウチ、タッチ、ホールド、エンゲージのタイミングを事前にフロントローと確認するなどして、組み合う際の事故の防止に努めてください。

また、崩れ、浮き上がり、立ち上がりへは、迅速に対応し危険を防止してください。

## (2) 継続性の促進

### ①タックル

- ・タックルの成立・タックラーの義務（タックルドプレーヤーを離す、ロールアウェイ、立ち上がるまでプレーしない）
- ・タックルされたプレーヤーの義務（ワンアームのリリース、立ち上がるまでプレーしない）
- ・アライドプレーヤーの義務（立ってかつタックラーとタックルされたプレーヤーのボックスの自陣側からでなければプレーできない）といった一連の流れの中で、正当なプレーを阻害したのは誰のどの行為だったのかを見極め、予防措置、ペナライズの的確性を高めることによって、プレーの継続性を促進してください。

### ②ラック

- ・タックルドボールの奪い合い、ラックの成立、オフサイドラインの発生といった流れの中で、プレーヤーがラック成立に気が付かずにプレーし、ハンドやオフサイドの反則を犯してしまい、ゲームが途切れてしまうケースが多くあります。
- ・予防措置とペナライズのバランスに配慮して、正当なオープンプレーができるスペースを確保（バックライン、周辺プレーヤーの立位置、オブストラクション）させてください。

### ③アドバンテージ

- ・競技規則第8条3以外のケースでは、適切かつ十分にアドバンテージの機会を与えると同時に、アドバンテージの機会が無い場合の不要な継続を避け、プレーヤーがアドバンテージローを活用するよう促してください。

## (3) 不正なプレー

- ・不正なプレーに対しては、シンビン、退場処分の適用も含め、競技規則第10条に則り、その

ゲームを委ねられた権限と責任において、毅然とした姿勢で対処してください。大会主催者は、その判断、決定を尊重し、支持いたします。

・チームが反則を繰り返さないよう、試合中のプレーヤーへのコーリング、キャプテンとのコミュニケーションを心がけてください。「反則の繰り返し」については、競技規則に対する無知や技術の未熟さによることもあり、シンピンの適用については寛大な基準によることもあり得ます。(第10条3(c)参照)

### (3) タッチジャッジとの連携事項

- ①チームには、公認レフリーの帯同をお願いしていますが、今回は完全実施には至っていません。今大会ではタッチジャッジの権限は、タッチ、ゴールのみになります。
- ②まだ不慣れなタッチジャッジも予想されますので、試合前に十分な打合せをお願いします。
- ③第3タッチジャッジは置きません。選手の入替え、交替については、競技役員からインカムを使用しレフリーに伝達しますので、入替え、交替の許可はその都度レフリーが行ってください。